

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(28回公演)報告

28. 7. 13:福祉施設「いずみ熊谷」(熊谷市)

今日は熊連協の「花ボランティア」の日で、開始時の雨が午後まで続いていました。

本日伺う特別養護老人ホームは、熊谷市でも行田市に近い位置にあり、5年前にオープンした大きな高齢者で、そのディサービスの方々を対象とし30名程の公演でした。

我々は5人の参加で、午後1時に現地に集合しました。

担当者の案内で早速地域交流室に通され、施設長さんから挨拶を受け、公演の段取りを打ち合わせ準備をしました。

公演を行う部屋は食堂を兼ねる大きな室で、広い舞台が備わっていました。

午後2時から予定通り公演が始まり、担当職員の方から簡単なクラブの紹介から演技が始まりました。

先ず我々のサークルの短く紹介し、舩田さんの「南京玉すだれ」お口上から演技がスタートしました。見物者の職員、ディサービスの方とも、ほとんど「南京玉すだれ」自身は知っているが、初めて見る方々ばかりで、玉すだれの変化に驚いていました。

次に「玉すだれ」の構造、変化する理由、歴史など分かりやすくお話し、ディサービスの方々に直接触れてもらい、ひとり一人と一緒に大きな輪をえがく形を作って記念の写真を撮りました。その時皆さんの顔が輝き嬉しそうな表情を表していました。

続いて「麦畑」を演技する頃には曲に合わせて大きな手拍子も聞かれ、会場は大いに盛り上がりました。その後根岸さんの司会で健康体操「サザエさん」を演技し、職員を巻き込んで皆で「からだ」を動かし、もちろんディサービスの方々と一緒に汗をかきました。

最後に行く「きよしのズンドコ節」では、会場から元気な「きよしコール」が聞かれ、あっという間の50分でした。会場からのアンコールの声に応え、も一度健康体操を行い、再度の公演を約束して約1時間の公演を終わりました。



